

自ら考え行動しより良い社会の創造に貢献できる市民の育成
～ こどもを主語とした自由で楽しい学び場づくり ～

【重点方針】

■ 1 探究を軸とした学びのスタイル改革 ～モチベーションと出番を重視した学びを追究

- 1 課題解決重視型学習×ICT 活用 ～課題を発見し解決へ向け試行錯誤し成果を発信
- 2 AIドリル活用、自由進度学習奨励（算数数学等） ～学びのオーナーシップをこどもに
- 3 All English 授業 ～世界とふれあう自立協働都市をめざして・多文化共生社会へ対応
- ☞ 1・3…「計画訪問」における授業公開（含地域、2の公開は奨励）
- 4 キャリア探検ラリー ～社会のリアルを体験し学びのモチベーションにつなげる
- 5 学校間英会話交流（奨励、習熟度別）、英語プレゼン発表会
- 6 茨城高専との連携 …留学生との交流による英会話体験、実験・演習等
- 7 ふるさと体験プログラム・ひたちなか検定 ～白亜紀層から G1 タワーへ、そして未来へ

■ 2 自治的活動による Agency の育成 ～こどもの意見を尊重した魅力ある学校づくり

- 1 学級会、委員会、生徒総会等の活性化 …企画・合意形成・意見表明のトレーニング
- 2 こどもを主体としたルールメイキングや学校行事等見直し ～当事者意識・責任感育成
- ☞ 11 月「いばらき教育月間」における授業公開 ※主体的・創造的シビックプライド醸成

■ 3 一人一人の教育的ニーズに対応した児童生徒支援の充実 ～早期発見・早期対応を徹底

- 1 こどもの困難や問題行動に向き合い共感し、共有し支援する組織体制の充実
- 2 不登校の根本要因へのアプローチ・研究の充実
- 3 いじめ認知の徹底と迅速化 ～命・人権を最優先する組織風土を醸成
- 4 アセスメントシートの開発・活用、個別の支援計画・指導計画の活用
- 5 ケース会議の確実な実施、医療福祉等専門機関との迅速な連携、学校間情報交換の推進

■ 4 校長のリーダーシップによる組織マネジメントの充実

- 1 問題発生時における状況把握と迅速・適切な判断・指示のためのガバナンスの強化
- 2 こどもの観察や教職員間の情報交換の充実、弱音・愚痴を語れる学校・職場づくり
- 3 体罰・暴言等の不適切指導の根絶 ～命と人権を守るロールモデルとしての自覚を徹底
- 4 ミドルリーダーを生かしたミドルアップダウン体制の構築
- 5 こども・教職員・組織の取組の検証と改善の着実な実施（R-PDCA）

■ 5 研修の充実 ～学びのプロに、受ける研修から求める研修へ、オーナーシップを教職員へ

- 1 市教育研究会のリードによる研修体制の充実、オンラインに重点・頻度増・定例化
- 2 校内研修の内容の重点化、ウェビナーの奨励（NITS・民間等）、中高接続の研究

■ 6 働き方改革の徹底 ～授業を改善しこどもの困難に向き合う本務に専念できる環境を担保

- 1 時間外月 45 時間未満を実現する業務分担の追究 …繁忙期の分掌変更・平準化等
- 2 出張・会議のスリム化 …校長会等含む、事前打合せ・連絡のオンライン化の促進
- 3 チーム担任制・教科担任制の推進、複数校遠隔授業の奨励
- 4 業務量管理・健康確保措置実施計画策定、デジタルツールのフル活用

■ 7 地域とともにある学校づくりの推進 ～地域のこどもを地域で育てる、まち全体が学校

- 1 コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進 ～こどもも地域活動に参画
- 2 学校部活動の地域展開の推進 ～魅力ある学校づくりとセットで